



山本よしかず県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

2月県議会予算委員会

市街地の混雑解消に大きな期待

八街バイパス全線開通を

山本委員 私
の地元の八街バイパスについてうかがう。県が進めている八街バイパス整備事業は、慢性的な市街地の交通混雑の解消と、歩行者の安全確保を図るために、平成23年5月には、二区から大木地先の約1.5キロメートルの一部開通してい

ふるさと八街市の街づくりに情熱を傾けている山本義一県議は2月定例県議会の予算委員会で質問に立ち、道路問題、県税徴収、防犯などについて県担当者に現状や今後の施策を質しました。八街市街地の混雑解消が期待されている八街バイパス整備では、工事の進捗状況を聞いたうえで、全線開通に向けた努力を要望しました。山本県議の質疑と県担当者の答弁を特集します。



県政の施策について質問する山本義一委員



3月22日、八街バイパス一部開通。北村新司八街市長(左)と。

ただいた。
現在は、県道千葉八街横芝線の「五区交差点」付近

から国道409号までの約1.2キロメートルの整備が進められ、平成27年度には路床の

山本委員 圏央道は、首都圏の交通混雑の緩和や地域の活性化を図ることを目

的に計画された道路で、都心から半径40〜60キロメートルに位置する総延長約300キロメートルのうち千葉県内の延長は約95キロメートルの高規格幹線道路。
千葉県においては、木更津東IC〜木更津JCT間、東金JCT〜木更津東IC間、県境〜神崎IC間、神崎IC〜大栄JCT間が次々と開通したことで、東北方面から成田空港をはじめとする県内への物流が良くなつたことや、観光客からも東北方面へ出かける方や来られる方から便利になったという話を聞く。

圏央道大栄JCT
松尾横芝IC間
用地取得率5割超す

構築や排水施設などの工事が行われた。また、現在進められている約1.2キロメートルについては、平成28年度の開通を目指して整備が進行している。そこで質問だが、八街バイパスの進捗状況はどうか。
道路整備課長 八街バイパスは、八街市街地の渋滞緩和を図る3.2キロメートルのバイパスであり、これまでにJR跨線橋を含む1.5キロメートルを供用しています。
残る1.7キロメートルのうち、県道千葉八街横芝線から国道409号までの1.2キロ

望 山本委員 国道409号から500メートル残っている。地元も汗をかきながら、地主へ折衝しており、私も努力するので、全線開通に向けて頑張ってください。
★県道千葉八街横芝線から国道409号までの八街バイパス1.2キロメートルが予定通り、先月22日に開通しました。

さらに、2月26日の茨城県区間の全線開通により、東関道から東名高速までが圏央道でつながることにより、本県のさらなる発展が期待される。
そのような中で、未開通区間の大栄JCT・松尾横芝IC間の整備についてうかがう。圏央道大栄JCT・松尾横芝IC間の工事の進捗状況はどうか。
県土整備部長 圏央道大栄・横芝間の18.5キロメートルについては、現在、全線にわたって用地取得を展開しており、用地進捗率は5割を超えています。
県では、来年度も、沿線市町とともに組織する「用地取得促進プロジェクト」のチームの積極的な活動や、千葉県土地開発公社による用地先行取得など、国の用地取得を支援し、埋蔵文化財は、できるだけ迅速に調査が進められるよう、体制をさらに整備し取り組んでまいります。

●千葉県や八街市のご意見、ご要望をお聞かせください
〒289-1116 八街市中央20-11
山本よしかず 県議事務所 TEL.043(440)7070 FAX.043(440)7030
HPもご覧下さい。… 検索 ホームページ: <http://www.yoshikazu-52.jp/>

所在不明の県税滞納者

聞き取り調査などで追跡



発言を求める山本義一委員

山本委員 平成29年度当初予算案における県税収入は前年度に比べ167億円減少しており、税収を最大限確保するためには、滞納額の縮減が今まで以上に重要となっている。

近年、県においては、徴収対策を強化し滞納額縮減への努力を続けているが、それでも平成27年度決算における滞納額は、235億円と多額となっている。この滞納の中には、滞納者が住民票の移転手続きをとりえずに転居し、その所在が不明となっているため、催告書も届かず自主納付が期待できないケースや、滞納者との納税折衝ができず徴収

ができないケースがあり、このことが滞納が解消しないひとつの要因と考えられる。そこでどうか、住民票の移転手続きをとりえずに所在が不明となっている滞納者について、どのような方法で所在を把握しているのか。

税務課長 滞納者の所在が不明の場合、親族などの関係者への聞き取りや、戸籍附票などの公簿の調査により、その所在の把握に努めております。

山本委員 所在が判明していない者の滞納を解消するために、どのような取り組みを行っているのか。税務課長 預貯金、生命保険、不動産、自動車等の財

票上の住所をもとに調査し、進めることが可能でございますので、他の滞納者への対応と同様に、適切に実施しております。

合同支援体制整備し 就農定着取組み充実

山本委員 農業振興の活性化について、新規就農者の確保にどのように取り組んでいるのか。

農林水産部長 県では、新規就農者の確保に向けて、就農前後の最長7年間、

年間最大150万円を支給する国の給付金制度による資金面での支援等を通じて、実践的な技術習得や地域における信頼関係の構築による農地確保の支援などに取り組んでおります。

山本委員 新規就農者の定着に向けて、どのように取り組んでいるのか。担い手支援課長 県では、新規就農者が抱える経営上の課題の解決を図り、就農定着を促進するため、市

町村と連携した相談体制の整備、新規就農者等の交流会の開催、普及指導員等による個別のフォローアップなどに取り組んでおります。さらに、来年度からは、関係機関と連携し、青年就農

給付金の給付対象者ごとに「経営・技術」「資金」「農地」のそれぞれの担当者による合同支援体制を整備し、就農定着に向けた取り組みの充実を努めてまいります。

交通事故死ゼロ目指し オール千葉で取組みを

山本委員 交通安全対策について、交通安全計画における交通事故死者数の目標など、計画の特徴はどのようなものか。

くらし安全推進課長 昨年3月に策定した第10次千葉県交通安全計画では、24時間死者数を平成32年度までに年間150人以下とすることを目標としております。

また、計画の特徴として、本県の交通事故の現状や社会情勢の変化等を踏まえ、新たに「高齢者の交通安全対策の強化」、「自転車の安全利用対策の強化」、「東京オリンピック・パラリンピック

クの開催に向けた交通ルール・マナーの啓発の充実」の3点を重点項目としたところで。

人でも多くの方に交通事故の悲惨さや絶望感、寂しさを実感してもらおうことにより、県民一人ひとりが積極的に安全・安心な社会の実現を目指すよう指導していただきたい。オール千葉で交通事故死ゼロを目指して取り組んでいただきたい。

八街市内2カ所に 信号機設置を要望

山本委員 信号機の整備について、今後の方針はどうか。

県警交通規制課長 信号機の整備については、更新を適切に行いながら、県民等からの新設要望に応えるため、引き続き計画的な整備に努めてまいります。

要望も一般質問で取り上げた八街市沖というところ

山本委員 過去に、八街市沖というところに、県道岩富山田台線と通称御成街道の交差点があるが、かなり危険な箇所である故も多発している。

また、県道千葉川上八街線の八街市吉倉という交差点も変則的な交差点で頻りに事故等が起きている。2交差点への信号機の設置を強く要望する。

防犯ボックス

29年度、3カ所設置予定

山本委員 市原市、八街市、酒々井町における防犯ボックス事業の特徴はどのようなものか。

くらし安全推進課長 市原市では、防犯ボックスを総合公園の敷地内に設置することで、地域住民のみならず、公園利用者にも身近に感じられるようにしてお

ります。酒々井町では、従来からの防犯拠点を増築して設置することで、防犯活動と一層の連携を図ることとしております。

また、八街市では、交番と近接して防犯ボックスを設置するとともに、警察官OBに加え、市職員のOBを配置することで、警察や市

の様々な部署と、緊密に連携できるようにするなど、地域特性に合わせた工夫をしております。

山本委員 市原市、八街市、酒々井町の行う防犯ボックス事業について、今後、県はどのような支援を行っていくのか。環境生活部長 県では、



今月13日開所予定の八街駅南口防犯ボックス

長 防犯ボックスの設置については、現在、複数の市町村から、具体的な相談を受けています。平成29年度当初予算案では、3カ所分の予算を計上しております。

防犯ボックスの運営費の大半を占める人件費について補助を行うとともに、市町村、県警で構成する連絡会議を随時開催し、活動事例や課題について意見交換